

## パブリックコメントに対する意見及び意見に対する市の考え方について

- 1 パブリックコメントを実施した計画書（案）
  - (1) 人口ビジョン（改定版）（案）
  - (2) 第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
- 2 募集期間 令和3年2月15日（月）～ 令和3年3月1日（月）（14日間）
- 3 意見の件数 2人（8件）
- 4 意見の概要と市の考え方

### (1) 人口ビジョン（改定版）（案）に対する意見

番号	枝番	御意見（要約）	市の考え方
1	1	<p>P34-35</p> <p>人口の将来展望（将来推計人口）について前回策定分の反省点・改善点、及び見通しの違いを説明、記載すべきではないか。</p> <p>2060年時将来推計人口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年人口ビジョン 24,145人</li> <li>・2020年人口ビジョン 15,536人</li> </ul> <p>この違い及び改善案を示すべき。</p>	<p>2015年の人口ビジョンと今回の人口ビジョンの人口の将来展望（将来推計人口）の推計値に大きな乖離が生じている主な理由は、人口や人口構成に大きな影響を与える社会増減（転入転出）に係る目標値設定が異なっているためです。</p> <p>2015年の人口ビジョンでは、国に準拠した出生率のほか、市独自に転入者数に高い目標を掲げ、転入者住宅建設等補助金や子育て世帯への経済的支援などの施策に取り組んできましたが、目標達成には至りませんでした。</p> <p>このことを踏まえ、今回の人口ビジョンにおいては、出生率は引き続き国に準拠した目標とするものの、社会増減については、人口構成や産業構造など、本市の現状を再度分析し、実現可能な目標から将来展望を推計し、お示ししたところです。</p>
	2	<p>P33</p> <p>「(1) 現状分析の整理」では漁業が基幹産業とあるが、前章まで読むと漁業が基幹産業かどうか不明瞭。記載するのであれば説得力ある記述が必要ではないか。</p>	<p>漁業は、就業者数は少ないものの、まぐろ漁業が含まれているから、売上高も約100億円と高く、本市の特色ある主要な産業と考えており、次のように修正いたします。</p> <p>P33 (修正前)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 稼ぐ力と雇用吸収力からみると、「製造業」「漁業」が<b>基幹産業</b>となっています。特に「食料品製造業」については、雇用力は非常</li> </ul>

		<p>に高く、稼ぐ力も有しているといえます。</p> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 稼ぐ力と雇用吸収力からみると、「製造業」「漁業」が<b>特色ある主要産業</b>となっています。特に「食料品製造業」については、雇用力は非常に高く、稼ぐ力も有しているといえます。</li> </ul> <p>(修正前)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>基幹産業</b>である「製造業」や「漁業」を中心にして、他産業との連携を図りながら、また地理的利便性を活かし新たな雇用を創出していく必要があります。</li> </ul> <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>特色ある主要産業</b>である「製造業」や「漁業」を中心にして、他産業との連携を図りながら、また地理的利便性を活かし新たな雇用を創出していく必要があります。</li> </ul>
3	<p>P26</p> <p>「【分析①】年齢階級別の人口推移の検証と市民ニーズの関係比較」の分析をまだ掘り下げ検証すべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳未満、20歳代だけでなく、親世代(30～50歳代)の意見・アンケート結果もくみ取るべきではないか。</li> <li>・本市へ住み続けたいかどうかのアンケートで、親世代の「市外に移り住みたい」・「わからない」と回答したことに着目する必要があるのではないか。</li> </ul>	<p>P26 に掲載しているアンケート結果にもありますように、30歳から50歳代の親世代においても、20歳未満や20歳代と同様に、「公園・スポーツ施設・レジャー施設」「働く場」が不足しているという意見が多い傾向が見られております。</p> <p>なお、当該分析はP26本文中、1-3行目に記載があるように、本市における転出が最も多い若い年齢層、特に女性の若い年齢層の転出超過が顕著である点を念頭におき、分析の結果及び対策の方向性を示しております。</p>
4	<p>P36</p> <p>(4) 人口の将来展望</p> <p>「■本市の目標設定」を期限の設定や数値目標など、より具体的に標記できないか。</p>	<p>人口推移は、自然動態と社会動態の動向で決まっております。そのためP36【将来人口の目標】において自然動態と社会動態について、10年ごとの目標値を記載しております。</p>

(2) 第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

番号	枝番	御意見（要約）	市の考え方
1	1	<p><u>元気度アップ・ポイント事業の拡充</u> 市民が気楽に参加できるウォーキング大会など、街中散策でもよいので企画してはどうか。</p>	<p>第2期総合戦略は、地方創生を成し遂げるため直接的に効果をもたらす施策について、重点的に取り組むべきものとして取りまとめております。 ご提案の事業については、効果的な取組について検討してまいります。</p>
	2	<p><u>市外からの観光客誘致の仕掛けづくり</u> ハブ拠点となるさのさ館や駅と、立ち寄りどころとを結ぶ移動手段や移動時間がわかる案内マップ制作や街中散策イベント、スタンプラリー等を実施し、回遊性の向上を図ってはどうか。 また、イベントの日時等の情報発信をしてはどうか。</p>	<p>観光振興策による交流人口増は、経済の活性化だけでなく、市民のまちへの誇りを醸成します。いずれも地方創生には不可欠なものと考えております。 そのため第2期総合戦略（案）では、「基本目標3 自慢できるまち」の「具体的施策（1）まちの魅力を高めるシティプロモーション」にて、食を中心としたツーリズム造成や様々な媒体を用いて情報発信することとしており、頂いたご意見も参考に施策に取り組んでまいります。</p>
	3	<p><u>安心できるまちづくりに防犯カメラの活用を</u> 防犯カメラは串木野駅や市来駅に設置したが、防犯カメラ設置補助金等の制度を検討してはどうか。</p>	<p>防犯や防災など、まちの安心安全は、市民生活や経済活動を支える土台であります。 ご提案の事業については、効果的な取組について検討してまいります。</p>
	4	<p><u>防災認識の市民レベルへの深化浸透</u> 災害パターンごとにどう具体的に準備・行動するか、考えるキャンペーンを実施してはどうか。移住促進には安心の視点が必要ではないか。</p>	